

# 魅力ある刈谷

## ～住みたい、住み続けたい刈谷市を目指して、

### ◆市民文教委員会（10月18日～20日）

- 千葉県千葉市 教員の負担軽減について
- ※東京都調布市 給食の食物アレルギー対策について  
図書館の魅力向上について
- 千葉県船橋市 歴史的資料のデジタル化について

### ◆建設委員会（10月18日～20日）

- ※千葉県柏市 柏の葉スマートシティについて
- 神奈川県逗子市 景観まちづくりについて
- 栃木県宇都宮市 自転車の利活用の促進について

#### 学校給食における食物アレルギー事故防止

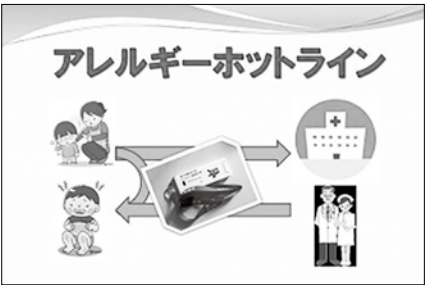
－組織的な取り組みと徹底した危機管理－

市民文教委員会委員長 鈴木 浩二

**目的**  
刈谷市の全児童生徒が、安心して楽しい給食時間を過ごせるようにするため、先進市のアレルギー事故防止の取り組みについて学ぶ。

**視察内容**  
調布市では、給食に関わるヒューマンエラー対策として、環境整備、給食指導、研修体制等に力を注いでいる。細部にわたって作成されたルールやマニュアルに沿った対応能力の向上や病院とのホットライン構築など、実施した危機管理体制の強化に組織的に取り組んでいた。今後、医師会と更に連携し、「管理指導表の実態や学校の対応状況」を掘り下げ、除去対応自体を減らす対策なども検討課題としていた。

**所感**  
第一学校給食センターの完成により、刈谷市のセンター方式でのアレルギー対応は強化された。しかし、事故の発生要因は、多くがヒューマンエラーである。マニュアル等を整備し、そのマニュアル等に沿った行動が履行される体制を確保するとともに、重大事故を未然に防止するための適切かつ迅速な危機管理体制の強化は、本市においても必要だと感じた。調布市のアレルギー事故防止に向けた様々な取り組みは、参考にすべき点が多く、有意義な視察であった。



調布市アレルギーホットライン

#### スマートシティ実現のための取り組み


－公・民・学が連携した次世代環境都市づくり－

建設委員会委員長 新村 健治

**目的**  
環境問題、少子高齢化などの社会的課題に対して、先進モデル都市における「公・民・学」の連携を研究し、本市のまちづくりに活かす。

**視察内容**  
柏市では、「環境共生都市」「健康未来都市」「新産業創造都市」をコンセプトに、行政、大学、民間企業、市民・NPO等が連携・協働し、地域主体の自立したまちづくりを実践している。また、異なる機能を持つ建物をエネルギーネットワークでつなぎ、エネルギー利用の最適化を図っている点が、大きな特徴であり、次世代環境都市を目指している。

**所感**  
「公・民・学」の連携によりプロジェクトが計画的に進められており、コンセプトを実施することへの強い想いを感じた。今回の視察では、環境・基盤を整えることで、人が集まり、まちづくりが進むということ学ぶことができた。本市には、多くの企業や愛知教育大学があり、公・民・学の連携を活かせる環境がある。「柏の葉スマートシティ」をまちづくりのモデル都市として、本市のまちなかマネジメント構想にある刈谷駅北口開発や銀座AB地区開発にも活かすことができると感じた。



柏の葉オープンイノベーションラボで学ぶ

# 市とすするために

## 各委員会で先進都市を視察～

※印が掲載した項目です。

### ◆福祉産業委員会（10月11日～13日）

- ※岡山県津山市 つやま産業支援センターの取り組みについて
- 山口県周南市 もやいネットセンター推進事業について
- 香川県高松市 高齢者居場所づくり事業について

### ◆企画総務委員会（10月11日～13日）

- ※京都府亀岡市 セーフコミュニティ推進事業について
- 兵庫県姫路市 地域防災力向上の取り組みについて
- 兵庫県川西市 PFI事業について

#### 市内経済の成長・雇用創出の取り組み


－各企業の技術力を活かし、ブランド化－

福祉産業委員会委員長 外山 鉱一

**目的**  
市内経済の成長、雇用の維持創出を目的として設置された「つやま産業支援センター」の取り組みについて学ぶ。

**視察内容**  
優れた人材を登用するため、全国から公募し採用された統括マネージャーを中心に、積極的に市内の企業を訪問している。各企業が持つ「高い技術力」を引き出し、依頼があれば、同業者及び異業者をつなぎ、自社技術に限界があっても対応可能業者へ情報提供するなど協働による相乗効果で経済効果を創出しており、メイドイン津山のブランド化を進めている。

**所感**  
本市の中小企業の多くは自動車部品関連で、常に生産性向上とコスト削減に取り組んでおり、その中で培われた高い技術力を持っている。その技術力を顕在化させ、自動車部品以外にも活路を見出すことは、産業振興のキーワードである。介護、医療、航空、IT、環境などへの技術力の活用、そして津山市のように企業間で横の展開を図っていくことは、メイドイン刈谷につながる。本市においても関係機関と連携しながら、企業の実情を理解した実効性のある支援が今後有効であると感じた。



つやま産業支援センターを視察

#### セーフコミュニティ活動の推進


－安心・安全に暮らせるまちづくり－

企画総務委員会委員長 清水 俊安

**目的**  
安心・安全に暮らすことのできるまちづくりを多くの主体の協働により進める亀岡市のセーフコミュニティの取り組みについて学ぶ。

**視察内容**  
亀岡市では、平成20年3月に日本で初めてセーフコミュニティの国際認証を取得し、事故やけがは偶然ではなく、予防できるという理念のもと、行政と地域住民などの協働により、全ての人たちが安心・安全に暮らすことができるまちづくりを推進している。平成25年2月には国内初めての再認証を取得。現在、国内で14の自治体が認証を取得している。


**所感**  
亀岡市の取り組みとして、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりを目標に6つの対策委員会を設置し、市民・行政・団体等が共通の問題意識を持ち、協働で活動を進めることで、刑法犯認知件数や交通事故件数・負傷者数が約50%減少するなど、確実に成果をあげている。経費がかかる認証を取得することが必ずしも必要とは言わないが「日本一安心安全まち」を目指している本市においても、市民・行政・団体等が協働で進めるセーフコミュニティの個々の取り組みは大いに参考になると感じた。



セーフコミュニティについて学ぶ


### 議会ICTピックアップ

◆議会運営委員会で先進都市を視察  
日時 平成29年10月25、26日  
視察項目 議会改革の取り組みについて  
視察先 東京都町田市、神奈川県横須賀市  
◆目的  
議会改革調査ランキングの上位に位置する先進市を調査し、議会改革の参考とする。  
◆視察内容  
議会ICT化を中心に、導入の背景・経緯・効果・課題の説明を受けた。  
◆所感  
本市同様、議会改革の目指すところは「開かれた議会」。議会活動の情報を積極的に発信し、市民の関心を高めることを目的としていた。  
両議会では、タブレット導入等、ペーパーレス会議を推進し、積極的な情報発信と会議の合理化が図られていた。一方、全ての資料を電子化することの限界やセキュリティ体制の構築を課題に挙げている。費用対効果を含めこれらの課題を整理し、議会改革につなげていきたい。



議会ICTについて学ぶ

◆中学3年生が議会を体験  
市内の中学3年生が、「地方自治制度学習」として、本市議会を訪れました。  
生徒は図書館の新設案を題材に、その賛否を議論しました。討論では、図書館の新設することにより、勉強できる機会が増えるといった意見や、市内に3カ所も図書館があるため、その予算を他の事業の費用とした方がよいので反対との意見が出るなど、白熱した討論が展開されました。  
◆生徒の感想  
・ 議会は、遠いものだと感じていたが、市民でも簡単に議会を見ることができ、非常に身近に感じた。  
・ かりやつこページを見ることにより、身の回りの多くのことが、地方自治によって動いていることを知り、驚いた。  
・ 刈谷が快適なまちであるのは、条例などの決まりを議員の方々が話し合っていて決めてくれているからだと思う。選挙権を持ったから、投票に行きたいと思う。  
・ 政治は、難しくよく分からないという考え方をやめて、自分から情報を取得していきたいと思った。



議場で記念撮影

### 委員会の動き

委員会では、議案、請願、陳情の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

#### 企画総務委員会

刈谷駅前交番の建て替え  
問 現在建て替え中だが、防犯機能などが低下していないか。  
答 街頭活動の拠点を刈谷駅周辺に置き、これまでと同様、事件、事故、困り事相談などの対応をさせていただいている。  
問 建て替えにより交番機能は強化されるのか。  
答 駐車スペースが車2台分確保され、地域の方との相談、会合等にも活用できるコミュニケーションルームも新たに設置され、これまで以上に地域に開かれた交番として機能が強化される。  
その他「防犯カメラ」「J R刈谷街道踏切の逆走」「選挙」などが話し合われました。

#### 福祉産業委員会

国民健康保険制度の県単位化  
問 県単位化によることで、被保険者にはメリットがあるのか。  
答 財政基盤が大きくなることにより、財政運営が安定し、被保険者にとっても保険料負担の増減が起りにくくなる。また、持続可能な医療保険制度を構築するため、国は国民健康保険に対し、財政支援の拡充を行い、被保険者の負担の軽減を図られることになる。  
その他「中小企業支援体制」「井ヶ谷町のグランドホーム」「みんなのメダルプロジェクト」「生活保護の状況」「路上喫煙防止」などが話し合われました。

#### 建設委員会

J R刈谷駅ホーム拡幅  
問 平成29年度の進捗や今後の見通しは。  
答 平成29年1月にJR東海と締結した設計に関する協定書に基づき、上下線ホームの拡幅ホームドアの設置などの検討を行っている。30年9月までには工法、工事費の算出、今後のスケジュールなどの整備計画をまとめ、JR東海と工事協定を締結していく予定である。  
その他「西三河都市計画駐車場第11号神田駐車場の都市計画決定」「バスロケーションシステム」「フローラルガーデンよさみ」「都市交通計画調査推進事業」などが話し合われました。

#### 市民文教委員会

加藤与五郎展示室のリニューアル  
問 リニューアルの内容は。  
答 加藤与五郎博士が発明した「フレライト」に関する展示物の更新、照明LED化、映像モニター液晶化等である。また、地元自動車関連企業の協力により、身近な自動車部品にフレライトが活用されていることを紹介する展示も実施している。  
問 子ども達が展示室を見学する機会はあるか。  
答 社会科見学等で地元の児童生徒が展示室を訪れており、休日には親子連れの見学もある。その他「司書」預かり保育」などが話し合われました。